

大学番号：国043

注3

[平成28年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

事前伺い

静岡大学 農学部 生物資源科学科
応用生命科学科

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 静岡大学
平成28年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 企画部企画課

職名・氏名 企画課長 ナカ ムラ ヒデ タカ
中 村 英 孝

電話番号 054-238-4574

（夜間） 054-238-4574

F A X 054-238-0089

e-mail secchi@adb.shizuoka.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

目次

農学部

＜生物資源科学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	15
4. 既設大学等の状況	16
5. 教員組織の状況	21
6. 留意事項等に対する履行状況等	25
7. その他全般的事項	26

＜応用生命科学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	29
2. 授業科目の概要	33
3. 施設・設備の整備状況、経費	40
4. 既設大学等の状況	41
5. 教員組織の状況	46
6. 留意事項等に対する履行状況等	50
7. その他全般的事項	51

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 静岡大学

(2) 大学名

静岡大学

(3) 大学の位置

〒422-8529

静岡県静岡市駿河区大谷836番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長			
理事			
学部長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)

平成28年度に報告する内容 → (28)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください (入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成25年度開設の4年制の学科の場合 (平成28年度までの4年間) ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称 (学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
農学部 生物資源科学科 学士 (農学) 学士 (学術)	4年	115人	3年次7人	474人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を () 書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	115 (-) [-]								0.98倍	平成28年度春季入学の入学 者数113名のうち, 5名は地 域創造学環 (教育プログラ ム) の全学一括募集による 入学生である。 なお, 全学一括募集のため 生物資源科学科分的人数を 特定できないことから, 志 願者数, 受験者数, 合格者 数の欄には地域創造学環の 志願者, 受験者, 合格者は 含めていない。
志願者数	290 (-) [-]									
受験者数	193 (-) [-]									
合格者数	116 (-) [-]									
B 入学者数	113 (-) [-]									
入学定員超過率 B/A	0.98									

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格 (いわゆる「留学ビザ」) により, 我が国の大学 (大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校 (専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期 (春季入学以外の学期区分を設けている場合) に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] (-) 112	[-] (-) 0	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次			/		[] ()				
4年次	/				[] ()				
計			[-] (-) 112	[] ()					

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況**について、**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	113 人	1 人	平成28年度	1 人	0 人	4月に入ってから入学辞退(他大学再受験 のため)の申出があった。(1人)	0.9 %
			平成29年度	人	人		
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成29年度 入学者	人	人	平成29年度	人	人		%
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	人	平成30年度	人	人		%
			平成31年度	人	人		
平成31年度 入学者	人	人	平成31年度	人	人		%
合 計	113 人	1 人					0.9 %

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<農学部 生物資源科学科>

(1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
新 入 生 セ ミ ナ ー	新入生セミナー	1前		2		2	2 3		5 2		兼 5	クラス分けを変更したため、教員を追加(28)
	情報処理	1前		2			3					
英 語	英語コミュニケーション I	1前	1								兼 22	
	英語演習 I	1前		1							兼 14	
	基礎英語演習	1後		1							兼 17	
	英語コミュニケーション II	1後		1							兼 7	
	英語演習 II	1後・2前		1							兼 5	
	英語ライティング I	2前・後		1							兼 3	
	英語リーディング I	1後・2前		1							兼 6	
	英語演習 III	1後・2前・2後		2							兼 6	
	英語ライティング II	2前・後		2							兼 3	
	英語リーディング II	1後・2前・2後		2							兼 6	
	英語ディスカッション	1後・2前		2							兼 6	
	英語インテンシブ A	1後		2							兼 1	
	英語インテンシブ B	2前		2							兼 1	
	アカデミックイングリッシュ I	2後		2							兼 1	
	アカデミックイングリッシュ II	2後		2							兼 1	
	アカデミックイングリッシュ III	2後		2							兼 1	
	ビジネスイングリッシュ	3後		2							兼 1	
	英語海外研修 A	1前		2							兼 1	
	英語海外研修 B	1前		2							兼 1	
	基 軸 教 育 科 目	初修外国語入門 I	1前	1								兼 22
初修外国語入門 II		1後		1							兼 22	
初修外国語 I		2前		2							兼 7	
初修外国語 II		2後		2							兼 6	
初修外国語 III		3前		2							兼 6	
初修外国語 IV		3後		2							兼 6	
健 康	健康体育 I	1前		1							兼 7	
	健康体育 II	1後		1							兼 7	

体育	スポーツⅠ	2前	1					兼 5	
	スポーツⅡ	2後	1					兼 4	
フィールドワーク	フィールド科学演習Ⅰ	1通	2	4 2	9 7		1	兼 2	グループを細分化し、各グループに指導教員を配置のため追加(28)共同・オムニバス
	フィールド科学演習Ⅱ	1通	1	4	10 2		2	兼 1	授業内容をより充実するため教員を追加(28)集中
	A B Pインターンシップ	2・3通	2					兼 1	集中・A B P留学生の必修科目
	フィールドワークⅠ	1後	1					兼 11	
	フィールドワークⅡ A	2前	1					兼 11	
	フィールドワークⅡ B	2後	1					兼 11	
	フィールドワークⅢ A	3前	1					兼 11	
	フィールドワークⅢ B	3後	1					兼 11	
	地域創造演習Ⅰ	1後	2					兼 11	
	地域創造演習Ⅱ A	2前	2					兼 11	
	地域創造演習Ⅱ B	2後	2					兼 11	
	地域創造演習Ⅲ A	3前	2					兼 11	
	地域創造演習Ⅲ B	3後	2					兼 11	
	地域創造演習Ⅳ A	4前	3					兼 11	
	地域創造演習Ⅳ B	4後	3					兼 11	
	キャリア形成科目	キャリアデザイン	1後	2					兼 1
個別分野科目	哲学	2前・後	2					兼 1	
	歴史と文化	2前・後	2					兼 1	
	ことばと表現	2前・後	2					兼 1	
	日本国憲法	2前・後	2					兼 1	
	法と社会	2前・後	2					兼 1	
	経済と社会	2前・後	2					兼 1	
	国際社会と日本	2前・後	2					兼 1	グローバル化に対応するため科目を追加(28)
	現代の社会	2前・後	2					兼 1	
	心理学	2前・後	2					兼 1	
	地域と文化	2前・後	2					兼 1	
	芸術論	2前・後	2					兼 1	
	現代教養科目	数学の世界	2前・後	2					兼 1
数理の構造		2前・後	2					兼 1	
物理の世界		2前・後	2					兼 1	
自然と物理		2前・後	2					兼 1	
化学の世界		2前・後	2					兼 1	

教養科目	生活の科学	2前・後	2						兼 1		
	生命科学	2前・後	2						兼 1		
	生物と環境	2前・後	2						兼 1		
	地球科学	2前・後	2						兼 1		
	進化と地球環境	2前・後	2						兼 1		
	科学と技術	2前・後	2						兼 1		
	学際科目	テーマ「国際・地域」	年度の初めに、各テーマに沿った授業科目名を公表する。	1・2・3前・後	2					兼 1	
		テーマ「環境・自然」		2					兼 1		
		テーマ「現代社会」		2					兼 1		
		テーマ「生命・人間」		2					兼 1		
		テーマ「科学・技術」		2					兼 1		
	留学生科目	日本語	日本語Ⅰ	1前	2					兼 1	留学生以外履修不可
			日本語Ⅱ	1前	2					兼 1	留学生以外履修不可
			日本語Ⅲ	1後	2					兼 1	留学生以外履修不可
			日本語Ⅳ	1後	2					兼 1	留学生以外履修不可
日本語Ⅴ			2前	2					兼 1	留学生以外履修不可	
日本語Ⅵ			2後	2					兼 1	留学生以外履修不可	
日本事情		日本事情	1後	2					兼 1		
		基礎日本語	A B P 基礎日本語Ⅰ	1後	1					兼 1	A B P 留学生の必修科目
A B P 基礎日本語Ⅱ			1後	1					兼 1	A B P 留学生の必修科目	
A B P 基礎日本語Ⅲ			1後	1					兼 1	A B P 留学生の必修科目	
A B P 基礎日本語Ⅳ			1後	1					兼 1	A B P 留学生の必修科目	
A B P 基礎日本語Ⅴ			1後	1					兼 1	A B P 留学生の必修科目	
A B P 基礎日本語Ⅵ			1後	1					兼 1	A B P 留学生の必修科目	
A B P 基礎日本語Ⅶ			1後	1					兼 1	A B P 留学生の必修科目	
A B P 基礎日本語Ⅷ			1後	1					兼 1	A B P 留学生の必修科目	
A B P 基礎日本語Ⅸ	1後		1					兼 1	A B P 留学生の必修科目		
A B P 基礎日本語Ⅹ	1後		1					兼 1	A B P 留学生の必修科目		
教職等資格科目	教職教養科目	(中等) 教育の原理	2前・後	2					兼 1		
		(中等) 発達と学習	2前・後	2					兼 1		
教養科目	数学概論A	1前	2						兼 2	植物C必修・木質C必修・環境C必修・農食C必修	
	数学概論B	1後	2						兼 2	植物C必修・木質C必修・環境C必修・農食C必修	
	物理学概論A	1前	2			1			兼 1	植物C必修・木質C必修・環境C必修・農食C必修	
	物理学概論B	1後	2						兼 1	植物C必修・木質C必修・環境C必修・農食C必修	

専 門 科 目	理 系 基 礎 科 目	化学概論 A	1前	2	1				植物 C 必修・木質 C 必修・環境 C 必修・農食 C 必修
		化学概論 B	1後	2	1				植物 C 必修・木質 C 必修・環境 C 必修・農食 C 必修
		生物学概論 A	1前	2	1	1			オムニバス・植物 C 必修・木質 C 必修・環境 C 必修・農食 C 必修
		生物学概論 B	1後	2	2				オムニバス・植物 C 必修・木質 C 必修・環境 C 必修・農食 C 必修
		生物学実験	1通	1	4	6	1	兼 1	植物 C 必修・木質 C 必修・環境 C 必修・農食 C 必修
		化学実験	1前	1	2	1	1	兼 6	植物 C 必修・木質 C 必修・環境 C 必修・農食 C 必修
		物理学実験	1後	1		2	1	兼 1 3	植物 C 選択・木質 C 必修・環境 C 選択・農食 C 選択 指導体制の充実のため(28)
		A B P 基礎数学	1後	1				兼 1	A B P 留学生の必修科目
		A B P 基礎物理学	1後	1				兼 1	A B P 留学生の必修科目
		A B P 基礎化学	1後	1				兼 1	A B P 留学生の必修科目
		A B P 基礎生物学	1後	1				兼 1	A B P 留学生の必修科目
専 門 科 目	農 学 基 礎 科 目	農学基礎論	1前	1	1			植物 C 必修・木質 C 必修・環境 C 必修・農食 C 必修	
		植物バイオサイエンス基礎論	1後	1	3	8	1		オムニバス・植物 C 必修・木質 C 必修・環境 C 必修・農食 C 必修
		木質科学基礎論	1後	1	2	2	3 4	兼 4	担当教員准教授に昇任(28) オムニバス・植物 C 必修・木質 C 必修・環境 C 必修・農食 C 必修
		地域生態環境科学基礎論	1後	1	4	4	1		オムニバス・植物 C 必修・木質 C 必修・環境 C 必修・農食 C 必修
		コミュニティ基礎論	1後	1	1	1	1 4	兼 1	高度な専門性をもつ教員の分担割合を高めた(28) オムニバス・植物 C 必修・木質 C 必修・環境 C 必修・農食 C 必修
		応用生命科学基礎論	1後	1				兼 8	オムニバス・植物 C 必修・木質 C 必修・環境 C 必修・農食 C 必修
専 門 科 目	コ ー ス 必 修 科 目	実践農学演習 I	1通	2	2	1	1	兼 1	共同・集中・植物 C 選択・木質 C 選択・環境 C 選択・農食 C 必修
		園芸科学	2前	2	1				植物 C 必修・環境 C 選択・農食 C 選択
		植物生理学	2前	2		1			植物 C 必修・環境 C 必修
		作物学	2前	2	1				植物 C 必修・環境 C 選択・農食 C 選択
		植物医科学	2前	2		5	1	兼 3	オムニバス・植物 C 必修・環境 C 選択
		土壌微生物学	2前	2		1			植物 C 必修・環境 C 選択
		木材組織学	2前	1		1			木質 C 必修
		技術者倫理	2前	1				兼 1	集中・木質 C 必修・環境 C 選択・農食 C 選択
		木質科学実習	2前	1	2	2	4		オムニバス・集中・木質 C 必修

専 門 科 目	科 目	農と食の哲学	2前	2	1					木質C選択・環境C選択・農食C必修
		基礎生態学	2前	2	1					植物C選択・環境C必修・農食C選択
		農と食の経済学	2前	2		1				植物C選択・農食C必修
		分子生物学	2前	2		1				植物C必修
		有機化学概論	2前	2	1					植物C必修・木質C必修・環境C必修・農食C選択
		土壌圏科学	2前	2		1				植物C選択・木質C選択・環境C必修・農食C選択
		木質機能科学	2前	2				2		オムニバス・木質C必修
		環境リスク論	2前	2					兼 1	環境C必修・農食C選択
		野生植物分類学	2前	1	2					オムニバス・木質C選択・環境C必修・農食C選択
		環境基礎実験	2前	2	1	3				オムニバス・環境C必修
		実践農学演習Ⅱ	2通	2	2	1		1	兼 1	共同・集中・植物C選択・木質C選択・環境C選択・農食C必修
		農山村デザイン演習Ⅰ	2通	4	2	2		1	兼 1	共同・植物C選択・木質C選択・環境C選択・農食C必修
		環境フィールドワークⅠ	2通	4	5	8		1		オムニバス・環境C必修
		農場実習	2通	2	1	1				オムニバス・植物C必修・農食C選択
		高分子科学	2後	2	1					木質C必修
		木質化学実験	2後	2	1			1		オムニバス・木質C必修
		森林環境水文学	2後	2					兼 2	オムニバス・木質C選択・環境C必修・農食C選択
		生化学概論	2後	2	1					植物C必修・木質C必修・環境C選択・農食C選択
		植物バイオサイエンス実験Ⅰ	2後	1	1	6		1		オムニバス・植物C必修
		基礎木質材料学	2後	2		1				木質C必修
		木材化学	2後	2	1			1		オムニバス・木質C必修
		情報処理演習	2後	1		2				オムニバス・木質C必修・環境C選択
		農村福祉論	2後	2				1		農食C必修
		農村資源計画学	2後	2		1			兼 2	オムニバス・木質C選択・環境C選択・農食C必修
木質化学工学実験	2後	2	1			1		オムニバス・木質C必修		
木質構造学実験	3前	2						木質C必修		

専 門 科 目	コ ー ス 必 修 科 目	木質材料学実験	3前	2		1	1		オムニバス・木質C必修	
		農食連携インターンシップ	3休	1		2	1	1	兼 1	オムニバス・集中・農食C必修
		植物バイオサイエンス実験Ⅱ	3前	1		2	4	1		オムニバス・植物C必修
		実践農学演習Ⅲ	3通	2		2	1	1	兼 1	共同・集中・植物C選択・木質C選択・環境C選択・農食C必修
		農山村デザイン演習Ⅱ	3通	4		2	1	1	兼 1	共同・植物C選択・木質C選択・環境C選択・農食C必修
		環境フィールドワークⅡ	3通	2		5	8	1		オムニバス・環境C必修
		植物バイオサイエンスプレセミナー	3後	1		3	8	1		植物C必修
		木質科学専攻演習Ⅰ	3後	1		2	1	4		木質C必修
		植物バイオサイエンス実験Ⅲ	3後	2		2	4	1		オムニバス・植物C必修
		農食コミュニティデザイン演習	4前	2		2	1	1		農食C必修
		植物バイオサイエンスセミナー	4前	1		3	8	1		植物C必修
		木質科学専攻演習Ⅱ	4前	1		2	1	4		木質C必修
		卒業研究	4通	6		12	18	7		
		A B P 卒業研究	4前	3		12	18	7		
コ ー ス 選 択 科 目	職業指導	1通	4					兼 1	集中・隔年・植物C選択・木質C選択・環境C選択・農食C選択	
	生態学入門	1後	2					兼 1		
	環境と化学	1前	2					兼 1		
	生活の中の物理	1前	2					兼 1		
	数値解析基礎	1後	2					兼 1		
	地質学概論	2前	2					兼 1	植物C選択・木質C選択・環境C選択・農食C選択	
	地学実習	2前	1					兼 1	集中・環境C選択	
	野生植物分類学実習	2前	1		2				オムニバス・集中・環境C選択・農食C選択	
	コミュニティビジネス論	2前	2					兼 1	農食C選択	
	森林生態学	2後	2			1			木質C選択・環境C選択・農食C選択	
	環境毒性学	2後	2		1				環境C選択	
	リモートセンシング学	2後	2		1				集中・環境C選択・農食C選択	

専 門 科 目	コ ー ス 選 択 科 目	森林生態管理学	2後	2		1		木質C選択・環境C選択・農食C選択
		環境社会学	2後	2		1		環境C選択・農食C選択
		緑地景観学	2後	2	1			集中・植物C選択・木質C選択・環境C選択・農食C選択
		造林学	2後	2		1		環境C選択
		果樹園芸学	2後	2		1		植物C選択・農食C選択
		昆虫学	2後	2		1		植物C選択・環境C選択
		雑草学	2後	2	1			植物C選択・環境C選択・農食C選択
		ゲノムサイエンス	2後	2		1		植物C選択
		都市計画論	2後	2				兼 1 木質C選択・農食C選択
		フードマーケティング論	2後	2				兼 4 集中・植物C選択・農食C選択
		住環境工学	2後	2				兼 1 隔年・集中・木質C選択
		住居計画	2後	2				兼 1 隔年・集中・木質C選択
		海外フィールドワーク	2休	2	2			兼 1 集中・共同・植物C選択・木質C選択・環境C選択・農食C選択
		食のリスクマネジメント	2後	2				兼 1
		水と空気と光の物理化学	2前	2				兼 1
		生活と防災の高分子科学	2前	2				兼 1
		科学ジャーナリズム論	2後	2				兼 1 隔年
		食品保存学	3前	1				兼 1 隔年・集中・植物C選択・農食C選択
		砂防学実習	3前	1		1		集中・環境C選択
		森林利用学実習	3前	1		1		集中・環境C選択
		野菜園芸学	3前	2	1	1		オムニバス・植物C選択・農食C選択
		花卉園芸学	3前	2			1	植物C選択・農食C選択
		収穫後生理学	3前	2	1			植物C選択・農食C選択
植物病理学	3前	2		1		植物C選択		
建築防災	3前	1				兼 1 隔年・集中・木質C選択		
建築法規	3前	1				兼 1 隔年・集中・木質C選択		
園芸食品学	3前	2		1		植物C選択・農食C選択		
樹木生化学	3前	2	1			植物C選択・木質C選択		
材料力学	3前	2			1	木質C選択		

専 門 科 目	へ 選 択 科 目	木質接着学	3前	2	1				木質C選択	
		応用木質材料学	3前	2		1	1		オムニバス・木質C選択	
		住環境構造学	3前	2					兼 1 木質C選択	
		山地保全学	3前	2		1			環境C選択・農食C選択	
		保全生態学	3前	2	1				植物C選択・環境C選択・農食C選択	
		室内環境学	3前	2		1			木質C選択・環境C選択・農食C選択	
		森林利用システム学	3前	2		1			木質C選択・環境C選択・農食C選択	
		富士・南アルプス生態学実習	3前	1	1	1			オムニバス・集中・環境C選択	
		空間情報科学	3前	2	1			1	オムニバス・環境C選択	
		遺伝子工学	3後	2					兼 1 植物C選択	
		応用気象学	3後	1					兼 1 集中・植物C選択・木質C選択・環境C選択・農食C選択	
		設計製図	3後	2					兼 1 木質C選択	
		住環境設計製図演習	3後	3					兼 1 木質C選択	
		森林測量学実習	3後	1		2			オムニバス・集中・環境C選択	
		地域生態環境科学プレセミナー	3後	1	5	8		1	環境C選択	
		科学英語	3後	1					兼 1 集中・植物C選択	
		木材保存学	3後	2					兼 1 木質C選択	
		測量学	3後	2		1			木質C選択・環境C選択	
		コース 選 択 科 目	測量学実習	3後	1		2			オムニバス・木質C選択・環境C選択
			持続可能型農業科学	3後	1		1			植物C選択・環境C選択
	溪流環境学	3後	2		1			兼 1 環境C選択・農食C選択		
	フードシステムガバナンス論	3後	2	1				兼 4 集中・農食C選択		
	農と食の起業論	3後	2		1			兼 7 農食C選択		
	インターンシップ	3休	2	5				集中・植物C選択・木質C選択・環境C選択・農食C選択		
	自然遺産の保護と活用	3前	2					兼 1		
	自然災害と現代社会	3前	2					兼 1		
	防災科学実習	3後	1					兼 1		
	地域生態環境科学セミナー	4前	1	5	8		1	環境C選択		
	コミュニティーリーダー論	4通	2	2	4		1	兼 1 農食C選択		
教 職 専 門 科 目 I	教 職 等 資 格	(中等) 教職入門Ⅰ	1前	1					兼 1 集中 非常勤講師の勤務先の都合により変更(28)	
		(中等) 教職入門Ⅱ	1前 4後	1					兼 1 集中 授業内容に現職教員の講演を追加したため、その講師の都合により夏季休業中の集中講義に変更(28)	
		(中等) 教育と社会	2前	2					兼 1	
		教育課程の意義と編成の方法	3前	1					兼 1 集中	
		教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	3前	1					兼 1 集中	
		特別活動論	3前	2					兼 1	
	生徒指導(進路指導の理論及び方法を含む)	3後	2					兼 1		

科目 専門科目	教育相談	3前	2							兼 1
	理科教育法Ⅲ	2・3前	2							兼 1 集中
	理科教育法Ⅳ	2・3前	2							兼 1 集中
	農業科教育法Ⅰ	2・3前	2							兼 1 集中
	農業科教育法Ⅱ	2・3前	2							兼 1 集中
	教育実習事前・事後指導	3後～4前	1							兼 1 集中
	教職実践演習（中・高）	4後	2							兼 1
	教育実習Ⅱ	4前		2						兼 1

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 2	科目 244	科目 1	科目 247	科目 2	科目 244	科目 1	科目 247	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考	
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計		
	校舎敷地	m ²	m ²	m ²	m ²		
	運動場用地	m ²	m ²	m ²	m ²		
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²		
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²		
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²		
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計		
		m ²	m ²	m ²	m ²		
		(m ²)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
	室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数			
				室			
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機 械 ・ 器 具	標 本
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル			
	冊	種	[うち外国書]	点	点	点	
	[]	[]	[]	()	()	()	
	([])	([])	([])	()	()	()	
計	[]	[]	[]	()	()	()	
	([])	([])	([])	()	()	()	
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		
	m ²						
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				
	m ²						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円
	共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次
		千円	千円	千円	千円	千円	千円
学生納付金以外の維持方法の概要							

- (注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	静岡大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 員	学位又 は称号	平均入 学 定 員 超 過 率	開 年 設 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
人文社会科学部		450	3年次 5	1,870		1.01			平成24年度入学生より、人文学部から人文社会科学部へ学部名称変更
社会学科	4	70	—	295	学士 (社会学又は学術)	1.03	昭和57年度	静岡市駿河区大谷836	
言語文化学科	4	75	—	300	学士 (文学又は学術)	1.05	平成4年度	〃	
法学科	4	90	3年次 2	364	学士 (法学又は学術)	1.05	昭和53年度	〃	
法学科(夜間主コース)	4	30	3年次 3	126	学士 (法学)	0.94	平成8年度	〃	
経済学科	4	155	—	665	学士 (経済学又は学術)	1.02	昭和53年度	〃	
経済学科(夜間主コース)	4	30	—	120	学士 (経済学)	0.82	平成8年度	〃	
教育学部		300		1,500		1.01			
学校教育教員養成課程	4	300	—	1,200	学士 (教育学)	1.01	平成10年度	静岡市駿河区大谷836	
生涯教育課程	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	
総合科学教育課程	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成28年度より 学生募集停止
芸術文化課程	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成28年度より 学生募集停止
情報学部		245		845		1.03			
情報科学科	4	100	—	400	学士 (情報学)	1.06	平成8年度	浜松市中区城北3-5-1	
行動情報学科	4	70	—	70	〃	1.05	平成28年度	〃	

情報社会学科	4	75	—	375	学士 (情報学又は 学術)	1.01	平成8年度	—	—
理学部		240		885		1.01			
数学科	4	38	—	143	学士 (理学)	1.04	昭和40年度	静岡市駿河区大谷836	
物理学科	4	48	—	183	学士 (理学又は学 術)	1.01	—	—	
化学科	4	52	—	187	—	1.01	—	—	
生物科学科	4	52	—	187	—	1.01	平成18年度	—	
地球科学科	4	50	—	185	—	1.02	—	—	
工学部		550		2,155		1.03			
機械工学科	4	168	—	663	学士 (工学又は学 術)	1.03	平成7年度	浜松市中区城北3-5-1	
電気電子工学科	4	110	—	425	学士 (工学)	1.04	—	—	
電子物質科学科	4	110	—	440	—	1.02	平成25年度	—	
化学バイオ工学科	4	112	—	427	学士 (工学又は学 術)	1.02	—	—	
数理システム工学科	4	50	—	200	学士 (工学)	1.02	—	—	
物質工学科	4	—	—	—	—	—	平成7年度	—	平成25年度より 学生募集停止
システム工学科	4	—	—	—	—	—	—	—	平成25年度より 学生募集停止
農学部		185	3年次 10	655		1.04			
生物資源科学科	4	115	3年次 7	115	学士 (農学又は学 術)	0.98	平成28年度	静岡市駿河区大谷836	
応用生命科学科	4	70	3年次 3	70	学士 (農学)	1.07	—	—	

共生バイオサイエンス学科	4	—	—	—	〃	—	平成18年度	〃	平成28年度より 学生募集停止
応用生物化学科	4	—	—	—	〃	—	平成元年度	〃	平成28年度より 学生募集停止
環境森林科学科	4	—	—	—	〃	—	平成18年度	〃	平成28年度より 学生募集停止
大学院人文社会科学研究科		36		72		0.98			
臨床人間科学専攻	2	11	—	22	修士 (臨床人間 科学)	0.95	平成15年度	静岡市駿河区大谷836	
比較地域文化専攻	2	10	—	20	修士 (文学)	1.05	平成9年度	〃	
経済専攻	2	15	—	30	修士 (経済学)	0.96	平成17年度	〃	
大学院教育学研究科		76		156					
学校教育研究専攻	2	52	—	104	修士 (教育学)	0.83	平成21年度	静岡市駿河区大谷836	
共同教科開発学専攻	3	4	—	12	博士 (教育学)	1.25	平成24年度	〃	
教育実践高度化専攻	2	20	—	40	教職修士 (専門職)	1.15	平成21年度	〃	
大学院総合科学技術研究科		479		958		1.15			
情報学専攻	2	60	—	120	修士 (情報学)	1.00	平成27年度	浜松市中区城北3-5-1	
理学専攻	2	70	—	140	修士 (理学)	1.10	〃	静岡市駿河区大谷836	
工学専攻	2	262	—	524	修士 (工学)	1.33	〃	浜松市中区城北3-5-1	
農学専攻	2	87	—	174	修士 (農学)	0.78	〃	静岡市駿河区大谷836	

大学院情報学研究科										
情報学専攻	2	—	—	—	修士 (情報学)	—	平成12年度	浜松市中区城北3-5-1	平成27年度より 学生募集停止	
大学院理学研究科										
物理学専攻	2	—	—	—	修士 (理学)	—	平成18年度	静岡市駿河区大谷836	平成27年度より 学生募集停止	
化学専攻	2	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成27年度より 学生募集停止	
地球科学専攻	2	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成27年度より 学生募集停止	
大学院工学研究科										
機械工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成18年度	浜松市中区城北3-5-1	平成27年度より 学生募集停止	
電気電子工学専攻	2	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成27年度より 学生募集停止	
電子物質科学専攻	2	—	—	—	〃	—	平成25年度	〃	平成27年度より 学生募集停止	
化学バイオ工学専攻	2	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成27年度より 学生募集停止	
数理システム工学専攻	2	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成27年度より 学生募集停止	
事業開発マネジメント専攻	2	—	—	—	〃	—	平成18年度	〃	平成27年度より 学生募集停止	
大学院農学研究科										
共生バイオサイエンス専攻	2	—	—	—	修士 (農学)	—	平成20年度	静岡市駿河区大谷836	平成27年度より 学生募集停止	
環境森林科学専攻	2	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成27年度より 学生募集停止	
大学院自然科学系教育部		50		150		0.92				

ナノビジョン工学専攻	3	13	—	39	博士 (学術又は工学)	0.66	平成18年度	浜松市中区城北3-5-1	
光・ナノ物質機能専攻	3	12	—	36	博士 (学術、理学 又は工学)	0.80	〃	〃	
情報科学専攻	3	10	—	30	博士 (学術、情報 学、理学又 は工学)	1.10	〃	〃	
環境・エネルギーシステム専攻	3	7	—	21	博士 (学術、理学 又は工学)	1.28	〃	静岡市駿河区大谷836	
バイオサイエンス専攻	3	8	—	24	博士 (学術、理 学、工学又 は農学)	0.95	〃	〃	
大学院法務研究科									
法務専攻	3	—	—	—	法務博士 (専門職)	—	平成17年度	静岡市駿河区大谷836	平成28年度より 学生募集停止

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（国立大学法人）が設置している全ての大学（学部，学科）及び大学院（専攻）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・ 学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・ 専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
 - ・ AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
15	21	0	7	43	12	19	0	6	37	15	21	0	7	43
(12)	(19)	(0)	(6)	(37)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
合計 (A)					後任補充状況の集計 (B)					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 設置時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、設置時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計 (C)					後任補充状況の集計 (D)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した**全ての専任教員**の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (A) + (C)					後任補充状況の集計 (B) + (D)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)				

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<農学部 生物資源科学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <ul style="list-style-type: none">a 委員会の設置状況b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）c 委員会の審議事項等 <p>② 実施状況</p> <ul style="list-style-type: none">a 実施内容b 実施方法c 開催状況（教員の参加状況含む）d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <ul style="list-style-type: none">a 実施の有無及び実施時期b 教員や学生への公開状況、方法等
--

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- ・ 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

b 公表方法

③ 認証評価を受ける計画

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成 28 年 6 月 30 日)

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 静岡大学

(2) 大学名

静岡大学

(3) 大学の位置

〒422-8529
静岡県静岡市駿河区大谷836番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長			
理事			
学部長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)
平成28年度に報告する内容 → (28)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください (入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成25年度開設の4年制の学科の場合 (平成28年度までの4年間) ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称 (学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
農学部 応用生命科学科 学士 (農学)	4年	70人	3年次 3人	286人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を () 書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	70 (-) [-]								1.07倍	
志願者数	446 (-) [-]									
受験者数	295 (-) [-]									
合格者数	80 (-) [-]									
B 入学者数	75 (-) [-]									
入学定員超過率 B/A	1.07									

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格 (いわゆる「留学ビザ」) により, 我が国の大学 (大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校 (専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期 (春季入学以外の学期区分を設けている場合) に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] (-) 75	[-] (-) 0	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次			/		[] ()				
4年次	/				[] ()				
計			[-] (-) 75	[] ()					

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況**について、**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	75 人	0 人	平成28年度	人	人		0 %
			平成29年度	人	人		
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成29年度 入学者	人	人	平成29年度	人	人		%
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	人	平成30年度	人	人		%
			平成31年度	人	人		
平成31年度 入学者	人	人	平成31年度	人	人		%
合 計	75 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<農学部 応用生命科学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養科目	新入生セミナー	1前		2		2	1			2		兼 7 クラス分けを変更したため、教員を追加(28)
	情報処理	1前		2		1	1					
	英語コミュニケーションⅠ	1前	1									兼 22
	英語演習Ⅰ	1前		1								兼 14
	基礎英語演習	1後		1								兼 17
	英語コミュニケーションⅡ	1後		1								兼 7
	英語演習Ⅱ	1後・2前		1								兼 5
	英語ライティングⅠ	2前・後		1								兼 3
	英語リーディングⅠ	1後・2前		1								兼 6
	英語演習Ⅲ	1後・2前・2後		2								兼 6
	英語ライティングⅡ	2前・後		2								兼 3
	英語リーディングⅡ	1後・2前・2後		2								兼 6
	英語ディスカッション	1後・2前		2								兼 6
	英語インテンシブA	1後		2								兼 1
	英語インテンシブB	2前		2								兼 1
	アカデミックイングリッシュ	2後		2								兼 1
	アカデミックイングリッシュ	2後		2								兼 1
	アカデミックイングリッシュ	2後		2								兼 1
	ビジネスイングリッシュ	3後		2								兼 1
	英語海外研修A	1前		2								兼 1
英語海外研修B	1前		2								兼 1	
基軸教育科目	初修外国語入門Ⅰ	1前	1									兼 22
	初修外国語入門Ⅱ	1後		1								兼 22
	初修外国語Ⅰ	2前		2								兼 7
	初修外国語Ⅱ	2後		2								兼 6
	初修外国語Ⅲ	3前		2								兼 6
	初修外国語Ⅳ	3後		2								兼 6
健康	健康体育Ⅰ	1前		1								兼 7 ※講義
	健康体育Ⅱ	1後		1								兼 7 ※講義

体育	スポーツⅠ	2前	1					兼 5	
	スポーツⅡ	2後	1					兼 4	
フィールドワーク	フィールド科学演習Ⅰ	1通	2	1			1	兼 14 10 グループを細分化し、各グループに指導教員を配置のため追加(28)共同・オムニバス	
	フィールド科学演習Ⅱ	1通	1	1			1	兼 16 5 授業内容をより充実するため教員を追加(28)集中	
	ABPインターンシップ	2・3通	2					兼 1 集中、ABP留学生の必修科目	
	フィールドワークⅠ	1後	1					兼 11	
	フィールドワークⅡA	2前	1					兼 11	
	フィールドワークⅡB	2後	1					兼 11	
	フィールドワークⅢA	3前	1					兼 11	
	フィールドワークⅢB	3後	1					兼 11	
	地域創造演習Ⅰ	1後	2					兼 11	
	地域創造演習ⅡA	2前	2					兼 11	
	地域創造演習ⅡB	2後	2					兼 11	
	地域創造演習ⅢA	3前	2					兼 11	
	地域創造演習ⅢB	3後	2					兼 11	
	地域創造演習ⅣA	4前	3					兼 11	
	地域創造演習ⅣB	4後	3					兼 11	
キャリア形成科目	キャリアデザイン	1後	2					兼 1	
現代教養科目	哲学	2前・後	2					兼 1	
	歴史と文化	2前・後	2					兼 1	
	ことばと表現	2前・後	2					兼 1	
	日本国憲法	2前・後	2					兼 1	
	法と社会	2前・後	2					兼 1	
	経済と社会	2前・後	2					兼 1	
	国際社会と日本	2前・後	2					兼 1 グローバル化に対応するため科目を追加(28)	
	現代の社会	2前・後	2					兼 1	
	心理学	2前・後	2					兼 1	
	地域と文化	2前・後	2					兼 1	
	芸術論	2前・後	2					兼 1	
	個別分野科目	数学の世界	2前・後	2					兼 1
		数理の構造	2前・後	2					兼 1
		物理の世界	2前・後	2					兼 1
		自然と物理	2前・後	2					兼 1
	化学の世界	2前・後	2					兼 1	
	生活の科学	2前・後	2					兼 1	

科目	生命科学	2前・後	2						兼 1		
	生物と環境	2前・後	2						兼 1		
	地球科学	2前・後	2						兼 1		
	進化と地球環境	2前・後	2						兼 1		
	科学と技術	2前・後	2						兼 1		
	学際科目	テーマ「国際・地域」	年度の初めに、各テーマに沿った授業科目名を挙げる。	2						兼 1	
		テーマ「環境・自然」		2						兼 1	
		テーマ「現代社会」		1・2・3前・後	2						兼 1
		テーマ「生命・人間」		2							兼 1
		テーマ「科学・技術」		2							兼 1
	日本語	日本語Ⅰ	1前	2						兼 1 留学生以外履修不可	
		日本語Ⅱ	1前	2						兼 1 留学生以外履修不可	
		日本語Ⅲ	1後	2						兼 1 留学生以外履修不可	
		日本語Ⅳ	1後	2						兼 1 留学生以外履修不可	
		日本語Ⅴ	2前	2						兼 1 留学生以外履修不可	
日本語Ⅵ		2後	2						兼 1 留学生以外履修不可		
日本事情	1後	2						兼 1			
留学生科目	ABP基礎日本語Ⅰ	1後	1						兼 1 ABP留学生の必修科目		
	ABP基礎日本語Ⅱ	1後	1						兼 1 ABP留学生の必修科目		
	ABP基礎日本語Ⅲ	1後	1						兼 1 ABP留学生の必修科目		
	ABP基礎日本語Ⅳ	1後	1						兼 1 ABP留学生の必修科目		
	ABP基礎日本語Ⅴ	1後	1						兼 1 ABP留学生の必修科目		
	ABP基礎日本語Ⅵ	1後	1						兼 1 ABP留学生の必修科目		
	ABP基礎日本語Ⅶ	1後	1						兼 1 ABP留学生の必修科目		
	ABP基礎日本語Ⅷ	1後	1						兼 1 ABP留学生の必修科目		
	ABP基礎日本語Ⅸ	1後	1						兼 1 ABP留学生の必修科目		
	ABP基礎日本語Ⅹ	1後	1						兼 1 ABP留学生の必修科目		
教職等資格科目	(中等)教育の原理	2前・後	2						兼 1		
	(中等)発達と学習	2前・後	2						兼 1		
教養科目	数学概論	1前	2						兼 1		
	統計学	1後	2						兼 1		

理系基礎科目	物理学概論	1前	1							兼 1
	化学概論	1前	1		1					
	物理化学1A	1前	1		1					
	物理化学2A	1前	1		1					
	物理化学1B	1後	2		1	1				
	物理化学2B	1後	2		1	1				
	生物学A	1前	2							兼 1
	生物学B	1後	2			1				兼 1 オムニバス
	生物学実験	1通	1		1					兼 11 オムニバス
	化学実験	1前	1		3	2		1		兼 4 オムニバス
	A B P 基礎数学	1後		1						兼 1 ABP留学生の必修科目
	A B P 基礎物理学	1後		1						兼 1 ABP留学生の必修科目
	A B P 基礎化学	1後		1						兼 1 ABP留学生の必修科目
	A B P 基礎生物学	1後		1						兼 1 ABP留学生の必修科目
	農学基礎科目	農学基礎論	1前	1						
植物バイオサイエンス基礎論		1後	1							兼 12 オムニバス
木質科学基礎論		1後	1							兼 7 オムニバス
地域生態環境科学基礎論		1後	1							兼 7 オムニバス
コミュニティ基礎論		1後	1							兼 3 高度な専門性をもつ教員の分担割合を高めた(28) 兼 6 オムニバス
応用生命科学基礎論		1後	1		8					兼 6 オムニバス
学科必修科目	基礎微生物学	1後	2		1	3 2		0 1		兼 1 担当教員准教授昇任のため(28) オムニバス
	分析化学1	2前	2		2					兼 1 オムニバス
	有機化学	2前	2		1					
	生化学A	2前	2		1					
	細胞生物学	2前	2			1				
	分子生物学	2前	2			1				
	生化学B	2後	2		1					
	実用科学英語1	3前	2							兼 1
	実用科学英語2	3後	1		14	8 7		4 5		兼 1 担当教員准教授昇任のため(28)
	応用生命科学実験1	2前	2		14	8 7		4 5		兼 1 担当教員准教授昇任のため(28) オムニバス
	応用生命科学実験2	2後	2		14	8 7		4 5		兼 1 担当教員准教授昇任のため(28) オムニバス
	応用生命科学実験3	3前	2		14	8 7		4 5		兼 1 担当教員准教授昇任のため(28) オムニバス
	卒業研究	4通		6	14	8 7		4 5		兼 1 担当教員准教授昇任のため(28)
A B P 卒業研究	4前		3	14	8 7		4 5		兼 1 担当教員准教授昇任のため(28)	
専門科目	分析化学2	2後		2	1	1				兼 1 オムニバス
	生物有機化学	2後		2	1	1				兼 1 オムニバス

教職等資格科目	教職専門科目Ⅰ	(中等) 教職入門Ⅱ	1前 4後	1					兼 1	集中 授業内容に現職教員の講演を追加したため、その講師の都合により夏季休業中の集中講義に変更(28)	
		(中等) 教育と社会	3前	2					兼 1		
		教育課程の意義と編成の方法	3前	1					兼 1		集中
		教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	3前	1					兼 1		集中
		特別活動論	3前	2					兼 1		
		生徒指導(進路指導の理論及び方法を含む)	3後	2					兼 1		
		教育相談	3前	2					兼 1		
教職専門科目Ⅱ	理科教育法Ⅲ	2・3前	2					兼 1	集中		
	理科教育法Ⅳ	2・3前	2					兼 1	集中		
	教育実習事前・事後指導	3後～4前	1					兼 1	集中		
	教職実践演習(中・高)	4後	2					兼 1			
	教育実習Ⅱ	4前		2				兼 1			

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
32	145	1	178	32	145	1	178	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	運動場用地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²			
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		m ²	m ²	m ²	m ²			
		(m ²)						
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数				
				室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機 械 ・ 器 具	標 本	
		[うち外国書] 冊	[うち外国書] 種	電子ジャーナル [うち外国書]				点
	〇〇学部	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
	計	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	m ²							
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	m ²							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	静岡大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 員	学位又 は称号	平均入 学 定 員 超 過 率	開 年 設 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
人文社会科学部		450	3年次 5	1,870		1.01			平成24年度入学生より、人文学部から人文社会科学部へ学部名称変更
社会学科	4	70	—	295	学士 (社会学又は学術)	1.03	昭和57年度	静岡市駿河区大谷836	
言語文化学科	4	75	—	300	学士 (文学又は学術)	1.05	平成4年度	〃	
法学科	4	90	3年次 2	364	学士 (法学又は学術)	1.05	昭和53年度	〃	
法学科(夜間主コース)	4	30	3年次 3	126	学士 (法学)	0.94	平成8年度	〃	
経済学科	4	155	—	665	学士 (経済学又は学術)	1.02	昭和53年度	〃	
経済学科(夜間主コース)	4	30	—	120	学士 (経済学)	0.82	平成8年度	〃	
教育学部		300		1,500		1.01			
学校教育教員養成課程	4	300	—	1,200	学士 (教育学)	1.01	平成10年度	静岡市駿河区大谷836	
生涯教育課程	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	
総合科学教育課程	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成28年度より 学生募集停止
芸術文化課程	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成28年度より 学生募集停止
情報学部		245		845		1.03			
情報科学科	4	100	—	400	学士 (情報学)	1.06	平成8年度	浜松市中区城北3-5-1	
行動情報学科	4	70	—	70	〃	1.05	平成28年度	〃	

情報社会学科	4	75	—	375	学士 (情報学又は 学術)	1.01	平成8年度	—	—
理学部		240		885		1.01			
数学科	4	38	—	143	学士 (理学)	1.04	昭和40年度	静岡市駿河区大谷836	
物理学科	4	48	—	183	学士 (理学又は学 術)	1.01	—	—	
化学科	4	52	—	187	—	1.01	—	—	
生物科学科	4	52	—	187	—	1.01	平成18年度	—	
地球科学科	4	50	—	185	—	1.02	—	—	
工学部		550		2,155		1.03			
機械工学科	4	168	—	663	学士 (工学又は学 術)	1.03	平成7年度	浜松市中区城北3-5-1	
電気電子工学科	4	110	—	425	学士 (工学)	1.04	—	—	
電子物質科学科	4	110	—	440	—	1.02	平成25年度	—	
化学バイオ工学科	4	112	—	427	学士 (工学又は学 術)	1.02	—	—	
数理システム工学科	4	50	—	200	学士 (工学)	1.02	—	—	
物質工学科	4	—	—	—	—	—	平成7年度	—	平成25年度より 学生募集停止
システム工学科	4	—	—	—	—	—	—	—	平成25年度より 学生募集停止
農学部		185	3年次 10	655		1.04			
生物資源科学科	4	115	3年次 7	115	学士 (農学又は学 術)	0.98	平成28年度	静岡市駿河区大谷836	
応用生命科学科	4	70	3年次 3	70	学士 (農学)	1.07	—	—	

共生バイオサイエンス学科	4	—	—	—	—	—	平成18年度	—	平成28年度より 学生募集停止
応用生物化学科	4	—	—	—	—	—	平成元年度	—	平成28年度より 学生募集停止
環境森林科学科	4	—	—	—	—	—	平成18年度	—	平成28年度より 学生募集停止
大学院人文社会科学研究科		36		72		0.98			
臨床人間科学専攻	2	11	—	22	修士 (臨床人間 科学)	0.95	平成15年度	静岡市駿河区大谷836	
比較地域文化専攻	2	10	—	20	修士 (文学)	1.05	平成9年度	—	
経済専攻	2	15	—	30	修士 (経済学)	0.96	平成17年度	—	
大学院教育学研究科		76		156					
学校教育研究専攻	2	52	—	104	修士 (教育学)	0.83	平成21年度	静岡市駿河区大谷836	
共同教科開発学専攻	3	4	—	12	博士 (教育学)	1.25	平成24年度	—	
教育実践高度化専攻	2	20	—	40	教職修士 (専門職)	1.15	平成21年度	—	
大学院総合科学技術研究科		479		958		1.15			
情報学専攻	2	60	—	120	修士 (情報学)	1.00	平成27年度	浜松市中区城北3-5-1	
理学専攻	2	70	—	140	修士 (理学)	1.10	—	静岡市駿河区大谷836	
工学専攻	2	262	—	524	修士 (工学)	1.33	—	浜松市中区城北3-5-1	
農学専攻	2	87	—	174	修士 (農学)	0.78	—	静岡市駿河区大谷836	

大学院情報学研究科										
情報学専攻	2	—	—	—	修士 (情報学)	—	平成12年度	浜松市中区城北3-5-1	平成27年度より 学生募集停止	
大学院理学研究科										
物理学専攻	2	—	—	—	修士 (理学)	—	平成18年度	静岡市駿河区大谷836	平成27年度より 学生募集停止	
化学専攻	2	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成27年度より 学生募集停止	
地球科学専攻	2	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成27年度より 学生募集停止	
大学院工学研究科										
機械工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成18年度	浜松市中区城北3-5-1	平成27年度より 学生募集停止	
電気電子工学専攻	2	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成27年度より 学生募集停止	
電子物質科学専攻	2	—	—	—	〃	—	平成25年度	〃	平成27年度より 学生募集停止	
化学バイオ工学専攻	2	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成27年度より 学生募集停止	
数理システム工学専攻	2	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成27年度より 学生募集停止	
事業開発マネジメント専攻	2	—	—	—	〃	—	平成18年度	〃	平成27年度より 学生募集停止	
大学院農学研究科										
共生バイオサイエンス専攻	2	—	—	—	修士 (農学)	—	平成20年度	静岡市駿河区大谷836	平成27年度より 学生募集停止	
環境森林科学専攻	2	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成27年度より 学生募集停止	
大学院自然科学系教育部		50		150		0.92				

ナノビジョン工学専攻	3	13	—	39	博士 (学術又は工学)	0.66	平成18年度	浜松市中区城北3-5-1	
光・ナノ物質機能専攻	3	12	—	36	博士 (学術、理学 又は工学)	0.80	〃	〃	
情報科学専攻	3	10	—	30	博士 (学術、情報 学、理学又 は工学)	1.10	〃	〃	
環境・エネルギーシステム専攻	3	7	—	21	博士 (学術、理学 又は工学)	1.28	〃	静岡市駿河区大谷836	
バイオサイエンス専攻	3	8	—	24	博士 (学術、理 学、工学又 は農学)	0.95	〃	〃	
大学院法務研究科									
法務専攻	3	—	—	—	法務博士 (専門職)	—	平成17年度	静岡市駿河区大谷836	平成28年度より 学生募集停止

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（国立大学法人）が設置している全ての大学（学部，学科）及び大学院（専攻）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・ 学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・ 専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
 - ・ AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<農学部 応用生命科学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成28年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
- なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
- ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数等

(2) - ① 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
14	7	0	7	28	14	8	0	6	28	14	7	0	7	28
(14)	(8)	(0)	(6)	(28)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
合計 (A)					後任補充状況の集計 (B)				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	

- (注) ・ 設置時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、設置時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
合計 (C)					後任補充状況の集計 (D)				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した**全ての専任教員**の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (A) + (C)					後任補充状況の集計 (B) + (D)				
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)				

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<農学部 応用生命科学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <ul style="list-style-type: none">a 委員会の設置状況b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）c 委員会の審議事項等 <p>② 実施状況</p> <ul style="list-style-type: none">a 実施内容b 実施方法c 開催状況（教員の参加状況含む）d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <ul style="list-style-type: none">a 実施の有無及び実施時期b 教員や学生への公開状況、方法等
--

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- ・ 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

b 公表方法

③ 認証評価を受ける計画

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成 28 年 6 月 30 日)